

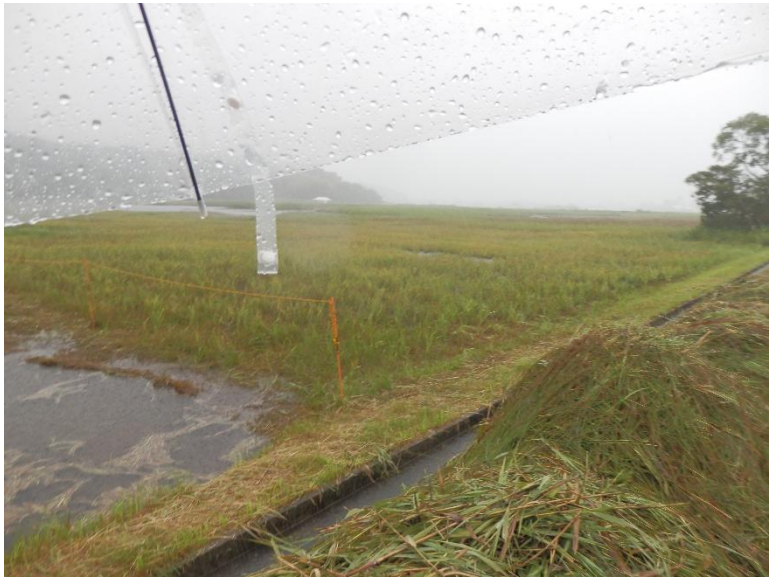
9月5日（金）2日目

4

前日午前3時、奄美大島の東で発生した台風15号が、5日午前に関東地方接近の予報で、この日の作業は中止となりました。それでも集合場所には23名が集まりました。初めての参加者もあり、せっかくなので、現地を見てもらうため、池まで移動しました。テントには、守る会の会長さん一人が詰めていました。雨足がやや強くなってきたので、一同ここでしばらく雨宿りとなりました。その間に、感謝状の贈呈をテントの中で行いました。作業の中止は「守る会」と刈谷市の判断。ボランティア参加者の責任ではありません。今回対象となった人は、作業に加わる意志を持ち、参加の申し込みをして、何よりも、台風接近の雨の中にもかかわらず、現地まで足を運んだ皆さんであり、イデキューとして作業に参加したとみなし、感謝状を贈呈しました。しばらくして、雨足が弱まった隙を見て、石碑・看板の前で恒例の集合写真を撮り、駐車場へ戻って、お弁当と記念品を配って散会となりました。



↑ やる気満々だったのに。雨がうらめしい。



↑ 前日の仕事場だったテント前。誰もいない雨にけむる池も風情があります。

ボランティア25年あれこれ②【雨で作業中止】

過去に雨で作業中止になったのは、2回。2010年9月16日は、有志で参加の時代。守る会会長挨拶の後、作業現場まで移動。はじめ！の号令がかかったところで、にわかに強い雨が降り出し、テントに退避したが、回復の兆しがなく、9時50分、中止の宣言が出されました。2013年9月5日は、会社のボランティアになってから。台風接近のため、前日に刈谷市から中止の連絡がありました。結果的に当日作業ができる状態になったため、「イデキューへの中止連絡は早すぎた。」と後悔の声があったと聞き、それ以来、イデキュー部隊は雨が降っても、槍が降っても、現地集合という方針となりました。

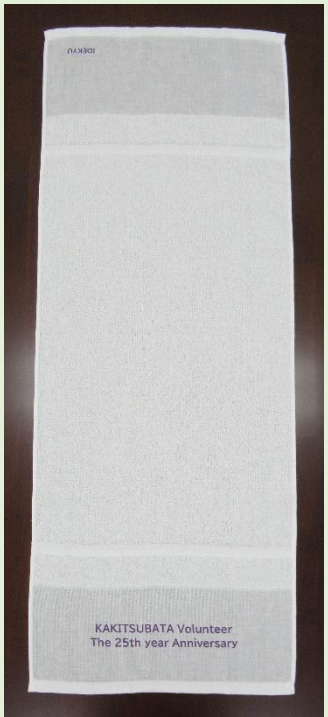
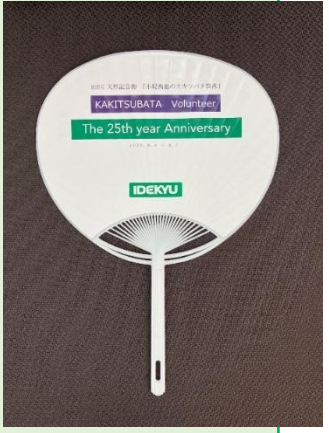


↑ 昨日と違って、池の水が戻りました。ちょっと多すぎますが・・・



↑ 戻る途中、守る会の元会長さん二人が、翌日の作業のため、池の水門を開け、外周の水路もあふれないように、詰まりを取り除いていました。

ボランティア活動
25周年記念品



20周年の時よりスケールダウンしましたが、25周年を記念して、今年参加の皆さんには、ごらんの「うちわ」と「タオル」が配られました。